



東谷山通信



鹿児島市立東谷山小学校 令和2年6月30日発行 男子389人 女子374人 計763人
〒891-0112鹿児島市魚見町124-1<Tel>099-268-5141<Fax>268-5142<Meil>s61-hitani@keinet.com

体験したことは身に付く！

校長 下南達朗

「聞いたことは忘れる。見たことは覚える。やったことは分かる。」とよく言われます。この出展は、「荀子」儒効篇の「不聞不若聞之、聞之不若見之、見之不若知之、知之不若行之」（聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは見るには及ばない。また、見ることは理解することに及ばない。しかし、理解することはそれを実践することには及ばない。したがって、学問は、実践の段階にまで至って終わるのである。）だそうです。（「中国名言名句の辞典」小学館）このことは、体験活動の大切さ、また、実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。



体験活動は、人づくりの「原点」です。豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」の基盤であり、子供の成長の糧としての役割が期待されています。つまり、思考や実践の出発点として、あるいは、思考や知識を働かせ、実践して、よりよい生活を創り出していくために、体験活動が必要であるとされているのです。

体験活動には、様々なものがあり、その内容に忘れて、生活・文化体験活動・自然体験活動・社会体験活動の大きく三つの活動に分類されるようです。学校生活の毎日にも、新たな体験活動があります。学習体験も、その一つです。休み時間に友達と遊ぶこと、給食の準備をして仲良く食べること、掃除の時間に教室や学校内をきれいにすること。正に毎日が体験活動であり、その中で、子供たちは、人間として必要なことを学んで成長していきます。学んだことを知識として蓄えることだけが目的ではありません。今求められている力は、学んだことをもとに、自分で考え、判断し、実践していく力です。実践の段階では、試行錯誤を繰り返し、失敗することの方が多いでしょう。逆に、失敗の数だけ、また成長していくのかも知れません。

体験したことを身に付けるために、三つの大切なことがあります。一つ目は、その体験活動のめあてをしっかりとつこと。二つ目は、体の全感覚を使って、「なぜだろう。どうしてだろう。」と疑問をもって考えることが大切です。自分なりの考えをもちながら体験することで、より深く自分の力となります。三つ目は、様々な体験活動の中での人との関わりを大切にすること。一人ではできないことも、みんなで力を合わせればできることがたくさんあります。力を合わせてできたことは、何よりの宝となります。

学校でも、より多くの体験活動を通して、基礎学力の定着につなげていこうと取り組んでいるところですが、校区コミュニティ協議会・PTA・ひがたにピース（おやじの会）・あいご会等の各種関係団体においても、年間を通じて（現在のところ、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止や延期になっていますが・・・）、様々な体験活動の機会を提供してくださっています。本当に有難いことです。これらの機会を有効に活用し、子供たちの心身ともに健やかな成長のために、ぜひ一つでも多くの体験活動に親子で参加していただきたいと思います。さあ、今年の夏休みは、どんな体験活動に取り組んで、お子さんにどんな力を身に付けさせますか！？

《歩育500m》⇒せめて、学校まで500mは歩かせましょう！

6月29日付文書で、「車による児童の送迎及び校内敷地への車の乗り入れ規制について（お願い）」という文書を配布いたしました。子供たちの安全を確保するために、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

さて、その文書の中に、本校が「歩育500m」に取り組み、原則として徒歩による登校を基本としていることを記載しました。この「歩育500m」について、御紹介します。2年生以上の保護者の皆様には、繰り返しのようになりますが、確認の意味でお読みいただければと思います。

「歩育500m」歩いて登下校することの意義はいろいろあると思いますが、力強い身体づくり、我慢する心やたくましい心の育成、交通ルールを守ること、友達との協調性などの力が身に付きます。また、暑い日、寒い日、雨の日、風の強い日、花や虫など、自然を感じながら歩くことで、私共大人が想像する以上の情報を身体全体に取り入れ、豊かな心の育成にもつながります。病気やけがなど特別な事情がある場合は、車での送迎もやむを得ませんが、何事もない場合は、子どもたちの成長のために、ぜひ500mは歩いて登下校させてい



教育実習

6月1日(月)～13日(土)、本校卒業生で鹿児島国際大学生の山下大輝さんが教育実習を行いました。短期間ながら、実際に様々な教育活動を体験したり、子供たちと触れ合ったりすることを通して多くのことを学ぶことができたと思いを寄せてくれました。先生になりたい気持ちがさらに強くなったそうです。



～3年1組での実習～

お知らせ

☆ この度、産休に入られた黒瀬先生の代替で参りました。寺嶋由佳と申します。主に、3・4年生の理科を担当させていただきます。これまで、中学校・高校で理科を担当してきましたが、小学校は初めてです。毎日楽しみながら、子供たちと一緒に奮闘しております。どうぞよろしくお願いいたします。



☆ 政府からの布製マスクの2枚目を配布しました。大事に使い、引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に努めてください。他のマスクも同様ですが、必ず記名して使用するよう、重ねてお願いいたします。

【7月の行事予定】

- 1日(水) 学級PTA(上学年)
- 2日(木) 喫煙防止教室(5年)、いじめについて考える日
- 3日(金) 学級PTA(下学年・特別支援学級)
PTA専門部会
- 7日(火) 教育相談開始～30日(木)
- 10日(金) 薬物乱用防止教室(6年)
- 11日(土) 土曜授業
- 20日(月) 3時間授業開始～31日(金)
- 23日(木) 海の日
- 24日(金) スポーツの日
- 31日(金) 1学期終業式



【8月の行事予定】

- 21日(金) 出校日
- 30日(日) PTA愛校作業 ※ 9月6日(日) 予備日

夏休み

学校評議員会について

6月25日(木)に学校評議員会を開催しました。今年度の学校評議員は、下記の6名の方々です。(☆=新規)

- 梶 島 奉 文(校区コミュニティ協議会長)
- ☆田 中 建 男(校区あいご会長)
- 原 田 敏 彦(こまつばら幼稚園長)
- 徳 留 由紀代(主任児童委員)
- 禰 木 みゆき(女性学級長)
- 東 條 雄 太(PTA会長)



当日は、本校の教育活動に関する意見交換や授業参観を通して、下記のような御意見をいただきました。

- 子供たちが、全体的に元気はつらつ頑張っているのよかった。
- 先生方の指導のお陰で、落ち着いて授業を受けている。
- 特に、1年生の授業を受ける態度がよくなったので、びっくりした。
- 2年生も、昨年度と比べると、成長の跡が見られ、うれしくなった。
- 特別支援学級の先生方が、熱心なアプローチをされたり、指導をされたりして、授業内容が充実していた。
- 授業のスタンダードが生かされていると感じた。
- 外国語や情報教育に先生方が頑張っている様子を見て、感心した。
- 人権教育の一環として、いじめに関する標語が見られたが、とてもよかった。
 - ・ その中に、とても心を打つ素敵な言葉があった。
 - ・ 言葉をよく選んで書いている。感性がすごい。
- 臨時休業等で、本年度のスタートが遅れたと思われるが、掲示物等も、いつも通りしっかりとあつた。
- 学校全体で、人権教育の取組がよくなされていると感じた。
- 「新しい生活様式」も、いろいろな工夫がなされ、よく配慮されている。
- マスク着用も、よく浸透している。
- 先生方が、マスクを着用して授業をされるのは、大変辛いと思われる。
- 廊下や階段の設営もよくなされているが、設営が見られない箇所もあった。
- クーラーを使用している学級と使用していない学級もあった。子供たちが、授業に集中するために、使用した方がいいのではないかと。
- コロナの影響で、子供たちの心の変化はないか。おそらく、ストレスがたまっているのではないかとと思われる。何かできることがあれば協力するので、声をかけてほしい。
- 外部の方が来校された場合、事務室で受付をされると思うが、そこでも、マスク着用の呼びかけと、消毒液を設置しておく必要はないか。
- 施設・設備面で、廊下の白線が薄い所がある。塗り直しが必要ではないか。
- 不審者情報を度々聞くが、校区としても早急に対応できるように、連絡体制を整えておく必要がある。
 - 学校に情報が届いたら、一番に、校区コミュニティ協議会長へ連絡する。

庭ぼうきをいただきました

日曜日の朝に活動されている一般団体のフレッシュクラブ(ソフトボール)の皆様と、西上塩屋ソフトボール同好会の皆様から、庭ぼうきを20本ずつ寄贈いただきました。最近では、丈夫なつくりの国内産庭ぼうきを一度に購入するのは難しいそうです。高価な品物をたくさん寄付していただきました。校庭や学校周りの清掃に使わせていただきます。誠にありがとうございました。

